

企画展

「肖像画で見る郷土の先賢展 SDGs持続可能な開発

—自然と共生し ふるさと富山をつかった人々— 4月12日(月)～6月20日(日)



当館には、県所蔵「郷土の先覚100人」の肖像画が保管されています。今年、今日のSDGsの視点から豊かな自然と共生し、よりよいふるさとづくりに尽力した「郷土の先賢」20名の足跡を、肖像画と共に功績や年譜を作成し展示しました。

「改めて富山県が数々の偉大な先人の努力によって発展し、今の姿になっていることが分かりました」「分かりやすく親しみやすい展示でした。女性の先賢が選ばれてなくて残念」などの感想をいただきました。

恒例展

第19回 「さんすうワールド 展」

7月14日(水)～8月26日(木)



「身近にある算数・数学を楽しもう」をテーマに、数や図形の不思議をクイズやパズルなどで紹介しました。数学者秋山仁先生がプロデュースした大型の数学体感遊具に加え、リニューアルしたクイズとプロ棋士の藤井聡太九段が幼い頃に遊んで直感力を育てたことで話題となったパズル「キューボロ」も展示し、興味関心ももてるようになりました。

「頭を使うクイズや実際に触って動かせるパズルがたくさんあっておもしろかった」「難しい問題もあったけど、子供と一緒に楽しみながらできた」などの感想が寄せられました。